

みずほCustomer Desk Report 2018/12/21号(As of 2018/12/20)

[昨日の市況概要]

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD	公示値	112.63
TKY 9:00AM	112.42	1.1388	128.06	1.2624	0.7113		
SYD-NY High	112.60	1.1486	128.39	1.2707	0.7149		
SYD-NY Low	110.82	1.1371	127.23	1.2610	0.7086		
NY 5:00 PM	111.30	1.1445	127.46	1.2656	0.7111		
NY DOW	22,859.60	▲ 464.06	日本2年債	-0.1500	0.00bp		
NASDAQ	6,528.40	▲ 108.42	日本10年債	0.0300	0.00bp		
S&P	2,467.42	▲ 39.54	米国2年債	2.67	2.47		
日経平均	20,392.58	▲ 595.34	米国5年債	2.67	4.37		
TOPIX	1,517.16	▲ 38.99	米国10年債	2.81	4.63		
シカゴ日経先物	20,390	▲ 275	独10年債	0.2290	▲ 0.80bp		
ロンドンFT	6,711.93	▲ 54.01	英10年債	1.2655	▲ 0.40bp		
DAX	10,611.10	▲ 155.11	豪10年債	2.3465	▲ 3.45bp		
ハンセン指数	25,623.53	▲ 241.86	USDJPY 1M Vol	7.25	0.98%		
上海総合	2,536.27	▲ 13.30	USDJPY 3M Vol	7.78	0.75%		
NY金	1,267.90	11.50	USDJPY 6M Vol	7.98	0.56%		
WTI	46.22	▲ 1.95	USDJPY 1M 25RR	-1.51	Yen Call Over		
CRB指数	172.67	▲ 3.55	EURJPY 3M Vol	8.75	0.42%		
ドルインデックス	96.44	▲ 0.59	EURJPY 6M Vol	9.17	0.33%		

東京	東京時間のドル円は112.42レベルでオープン。前日比マイナスで寄り付いた日経平均株価が下げる幅を縮小したことや、五・十日の実需需要のドル買い圧力等を背景にじり高推移となり一時112.60まで上昇。しかし、その後は再び日経平均株価が下落に転じ2017年9月以来の安値圏まで下げる幅を拡大する展開となるとドル円も軟調推移に。112円台前半で一旦下げる局面もあったものの、引けにかけて売りが強まる結果となる112円ちょうどを割れ一時111.87まで下落。111.93レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は111.93レベルでオープン。FOMCの利上げを受け、欧州株が軟調に推移する中、111.66まで売られる。日銀は金融政策決定会合で現状維持を決めたが、市場の反応は限定的。日銀による国際金融資本市場に関する情報交換会合終了後、浅川財務官が市場動向についてボラが一段と高まった場合に「適切に対応する」と発言し、下げるも反転には至らず、111.79レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.2640レベルでオープン。英11月小売売上高が前年比3.6%の上昇を示し、予想(1.9%)を大幅に上回ったことから、1.2707まで買われるも、英中銀が政策金利を0.75%に据え置き、フレギットを巡る不透明感が「著しく高まつた」と指摘すると、反落。原油価格の下落でインフレ率が近く目標の2%を下回るとの見方も相俟って、引き締め観測が遅のき、上値重く推移。1.2670レベルでNYに渡った。(ロンドン・ルリー 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	ドル円は111.79レベルでNYオープン。朝方は米12月フィラドフィア連銀景況指数指標が予想を下回ったことや安寄りのダウ平均に圧迫され111.47まで下落。その後、111.71まで戻す場面も見られたが、ダウ平均が一段と下落し、年初来安値を更新する動きに、リスクの円買いが加速し111円割れを試す展開になる。その後、ライアム・スティーブンソン議長の「景気回復のための政策手段を講じること」の発言に米政府機関閉鎖への懸念が強まることから111円を下抜け、9月7日以来の水準となる110.82まで下落。その後、米金利の小幅上昇や米株の下げる止まりにドルが買い戻され111.31まで戻し、111.30レベルでクローズ。一方、ユーロドルは1.1450レベルでNYオープン。朝方は1-0円の下落に連れ安となり一時1.1404まで下落する。その後、米政府機関閉鎖への懸念を背景に米株の下落が加速する中、1-0円は買戻され1.1485まで反発上昇。しかし、海外時間高値付近では売り意欲も見られる中、終盤は1.1403まで下落し、結局1.1445レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧説を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じています。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:光石・森谷

[昨日の指標等]

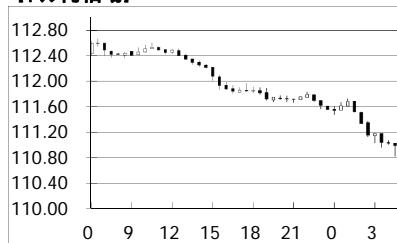
Date	Time	Event	結果	予想
12月20日	09:30	豪 雇用者数変化/失業率	11月 37.0K/5.1%	20.0K/5.0%
	18:30	英 小売売上高(除自動車燃料、前月比/前年比)	11月 1.2%/3.8%	0.2%/2.3%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	- 214K	215K

国際為替部 為替営業第二チーム

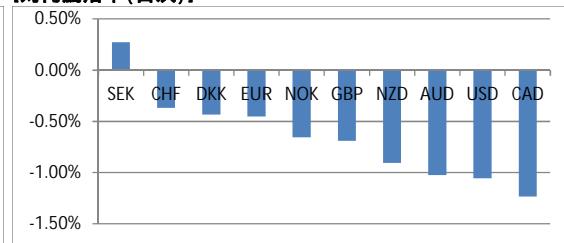
[本日の予定]

Date	Time	Event	予想	前回
12月21日	08:30	日 CPI/コアCPI/コアコアCPI(前年比)	11月 0.8%/1.0%/0.4%	1.4%/1.0%/0.4%
	18:30	英 GDP(前期比/前年比) 確報	3Q 0.6%/1.5%	0.6%/1.5%
	22:30	米 GDP(年率/前期比)	3Q 3.5%	3.5%
	22:30	米 個人消費・確報	3Q 3.6%	3.6%
	22:30	米 コアPCE(前期比)・確報	3Q 1.5%	1.5%
	22:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	11月 1.6%	-4.3%
	00:00	米 耐久財受注(除輸送用機器)・速報	11月 0.3%	0.2%
	00:00	米 個人所得/個人支出(前月比)	11月 0.3%/0.3%	0.5%/0.6%
	00:00	米 PCEコア・フレーム(前月比/前年比)	11月 0.2%/1.9%	0.1%/1.8%
	00:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	12月 97.4	97.5

[ドル円相場]



[対円騰落率(日次)]



[予想レンジ]

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.50-111.50	1.1380-1.1500	126.50-128.00

[マーケット・インプレッション]

昨日のアジア時間のドル円は日経平均が大幅安となる中、リスク回避姿勢が強くなり112円を割れるレベルまで円高が進行。更に海外時間においては欧州株や米国株が下落したことに加え、米政府機関閉鎖の懸念が高まると、リスク回避姿勢に拍車がかかり、ドル円は9月10日以来となる110.82まで下落する展開となった。世界的な株価の下落を受け、リスク回避姿勢が緩むことが考えにくい状況下、本日も引き続きドル円は上値が重い展開を予想している。